



**Newsletter 2020 No.3**

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第57号 発行日: 2021年2月20日

◇学会事務局: 〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1  
杏林大学外国語学部内 email: jimujsthe.org  
Tel 0422-47-8000 (代表) Fax 0422-47-8077 (共用)

◇学会 Web: <https://jsthe.org/>

◇編集・発行人: 高橋修一郎(stakahashi@bgu.ac.jp)

**【第20回全国大会のご案内】**

すでにご案内の通り、今年度の全国大会は、2021年3月6日(土)・7日(日)の2日間にわたり、オンライン(ビデオ会議システム「Zoom」)で実施致します。テーマは「With / After コロナ時代における観光ホスピタリティ教育のあり方」です。初日のシンポジウムでは、高校生の進学意識から大学4年生の就職活動まで、キャリアの視点からコロナ禍における観光・ホスピタリティ教育の課題について重点的に取り上げます。

研究報告・教育実践報告などプログラムの詳細は、従前にお送りした全国大会案内をご確認ください。最新のご案内については学会ウェブサイトでお知らせします。

参加申し込みについては、今年度はウェブサイトからの登録となっております。以下のQRコードからアクセス可能です。1日目のプログラムは非会員の参加も可能ですので、お誘い合わせの上ふってご参加ください。



(URLは学会ウェブサイトにも掲載)  
締め切り 2月27日(土)

1. 開催日 2021年3月6日(土)・7日(日)

2. プログラム概要

[1日目: 3月6日(土)]

13:00~13:45 理事会

13:55~ Zoom 入室開始

14:00~14:10 開会式

14:10~16:30 シンポジウム

「コロナ禍における観光ホスピタリティ教育の再検討-キャリアの視点から」

14:10~14:40 話題提供

「コロナ禍における高校生の受験・進学への意識変化」  
小林 浩氏 (リクルート進学総研所長・リクルー

ト「カレッジマネジメント」編集長)

14:40~16:30 パネルディスカッション

「コロナ禍における観光ホスピタリティ教育の再検討-キャリアの視点から」

<パネリスト>

難波 繁之氏 (関東学院六浦中学校・高等学校 教頭・旭川大学 非常勤講師)

福本 賢太氏 (阪南大学国際観光学部 教授)

村上 雅巳氏 (跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 准教授/就職部長)

<コメンテーター>

小林 浩氏 (リクルート進学総研所長・リクルート「カレッジマネジメント」編集長)

<コーディネーター>

小畑 力人 (本学会 会長)

[2日目: 3月7日(日)]

08:50 Zoom 入室開始

09:00~10:35 研究報告・教育実践報告

【会場1 研究報告】

・複合クロッシングによるデジタルデスティネーションマーケティング: エスノグラフィックインタビューから見たニーズ分析 浦 聡美氏 (明星大学)

・新型コロナウイルス感染症による訪日教育旅行への影響と今後の展望に関する予備的考察

宍戸 学氏 (日本大学)

・日中翻訳の特異性: 観光施設の中国語対応に基づいて

宮 偉氏 (城西国際大学)

・国立アイヌ民族博物館の多言語表記理解と外国人観光客の文化観光促進へ向けて: 中国語表記を中心として

古 詩月氏 (札幌国際大学大学院)

千葉 里美氏 (札幌国際大学)

【会場2 研究報告・教育実践報告】

・ホテルフロントの接客コミュニケーションの Can-do リスト作成プロセス: 外国語教育を通じた観光人材育成を視野に入れて

林 千賀氏 (城西国際大学)

総田 はるみ氏 (横浜商科大学)

中井 延美氏 (明海大学)

田中 直子氏 (北星学園大学短期大学部)

森越 京子氏 (北星学園大学短期大学部)

藤田 玲子氏 (成蹊大学)

・航空業界が求める外国人人材: 人事担当者のインタビュー調査から 羽鳥 美有紀氏 (城西国際大学)

・Why Do We Teach Tourism?: An Investigation of the Purpose of Tourism Higher Education Degrees in the Nordic Countries

Edelheim Johan氏 (北海道大学)

・海外エアライン研修による観光ホスピタリティ人材育成の取組: 観光キャリア形成とホスピタリティに着目

した効果検証 高橋 修一郎 氏 (文京学院大学)

10:45~12:15 ワークショップ

① オンライン授業の実践状況

② カリキュラム運営の現状

12:20~12:50 ワークショップ報告

12:50~13:00 閉会式

※ プログラムの内容・時間等は変更することがあります。

3. 大会参加費 無料 (懇親会は実施しません)

1 日目は学会員以外のご参加も歓迎します。

お申し込みは上記 QR コードから、または学会ホームページのリンクからお願いいたします。締め切りは 2 月 27 日 (土) です。

4. 問い合わせ先 (全国大会事務局)

成蹊大学経営学部 藤田 玲子

e-mail : taikai@jsthe.org

5. 大会実行委員会

委員長 : 橋本 俊哉 (立教大学)

副委員長 : 藤田 玲子 (成蹊大学)

委員 : 大串 恵太 (追手門学院大学) 大島 知典 (阪南大学) 澁谷 和樹 (立教大学) 鈴木 涼太郎 (獨協大学) 野口 洋平 (杏林大学) 古本 泰之 (杏林大学)

## 【理事会報告】

<2020 年度第 4 回理事会>

日時 : 2020 年 12 月 19 日 (土) 13:30~14:50

場所 : オンライン会議システム Zoom を用いて実施

出席者 : 小畑会長、宍戸副会長、橋本副会長、鈴木理事、高橋理事、千葉理事、中村理事、野口理事、廣岡理事、福本理事、藤田理事、古本理事、峯俊理事、村上理事、難波監事、大島安奈幹事、大串幹事、板垣幹事、澁谷幹事

欠席者 : 芝木理事、安島監事、大島知典幹事

[報告事項]

機関誌第 14 号の発行に向けて順調に進捗していることが編集委員会より報告されました。

[審議事項]

議事 1. 第 20 回全国大会の実施について

2021 年 3 月 6 日 (土)・7 日 (日) での実施および日程の詳細を再確認しました。

シンポジウムについては、小畑会長・福本理事・村上理事を中心に内容を調整、ワークショップや研究報告・教育実践報告 (いずれもオンライン実施) については全国大会実行委員会が中心となって運営することになりました。それらの情報を事務局に集め、12 月下旬には第一報を会員に配信する流れとしました。

議事 2. 第 4 回理事会・第 2 回研究会について

2021 年 1 月 23 日 (土) 13:30 より、リアル会場を成蹊大学に設定し、オンラインとのハイブリッドで実施することになりました。15:00 からの第 2 回研究会の仮テーマは「続・コロナ禍の観光教育をどう進めるか」(講師: 板垣武尊氏・大島安奈氏) とし、調整はコーディネーター役の宍戸副会長に一任することになりました。

※注 : 本理事会終了後に緊急事態宣言が発令にされたため、第 4 回理事会・第 2 回研究会はオンラインのみでの実施に変更となりました。

議事 3. 入会審査

● 新たに 2 名 (正会員・準会員各 1 名) の入会が承認されました。

<2020 年度第 5 回理事会>

日時 : 2021 年 1 月 23 日 (土) 13:30~14:50

場所 : オンライン会議システム Zoom を用いて実施

出席者 : 宍戸副会長 (議長代行)、橋本副会長、鈴木理事、高橋理事、千葉理事、中村理事、野口理事、福本理事、藤田理事、古本理事、峯俊理事、村上理事、難波監事、安島監事、大島安奈幹事、大島知典幹事、大串幹事、板垣幹事、澁谷幹事

欠席者 : 小畑会長、廣岡理事

[報告事項]

1. 編集委員会より機関誌第 14 号の発行完了が報告されました。2021 年 1 月末に事務局に納品、2 月中に配送予定です。

2. 第 1 回研究会 (2020 年 12 月 19 日) について、24 名の参加があったことが報告されました。

3. 学協会より「著作権ポリシー」の提供について依頼があり、編集委員会・事務局で協議した結果、今回は「検討中 Gray」として回答することになりました。

4. 文部科学省が中心となる「観光系学会連絡会」の現状対応について総務委員会より報告がなされました。

[審議事項]

議事 1. 第 20 回全国大会の実施について

● コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令などを踏まえ、成蹊大学での実施は行わず、全てオンラインでの実施とすることを決定しました。

● 研究・教育実践報告は 8 件の申し込みがありました。

● 以後の実施に向けた運用は全国大会実行委員会に一任することになりました。

議事 2. 次回総会について

● 日程としては 2021 年 6 月 12 日 (土) を第一候補とし、次回理事会で最終決定することになりました。

● 会場は成蹊大学を第一候補とし、バックアップとして杏林大学井の頭キャンパスを設定することとなりました。オンラインの併用も検討します。

議事 3. 研究助成団体の報告義務について

グループ研究助成制度に採択されているグループの研

究成果報告の取り扱いについて検討されました。今回の議論を踏まえ、新規事業委員会と編集委員会で詳細を検討の上、次回理事会で再度審議することになりました。議事4. 次期理事会検討チームの立ち上げについて（会長からの提案を総務委員長が代読）

小畑会長より次期理事会の選出に向けたタイムスケジュールの提示がありました。その上で構成員を検討するチームの設置が提案され、橋本副会長・藤田理事が担当することとなりました。事務局は古本理事が担当します。議事5. 入会審査

新たに正会員1名の入会が承認されました。

議事6. そのほか

宋戸副会長より、観光庁「初等中等教育における観光教育の推進に関する協議会」が運営するワークショップなどの行事を本学会が後援することについて付議があり、原則として後援していくことを決定しました。

## 【研究会報告】

### [第1回]

2020年12月19日(土)、2020年度第1回研究会「コロナ禍(下)の2021年度大学入試—来春、大学・短期大学はどのように、どのような新入生を迎えるのか?—」

(オンライン会議システムZoom利用)を実施しました。講師として、河合塾・教育研究開発部の中島由起子氏をお迎えし、コロナ禍における入試と来春には新入生として迎える受験生の行動と意識の変化を主たるテーマとして講演をいただきました。現高校3年生・大学1年生の意識など幅広い情報提供がなされた後、コーディネーターである小畑会長と中島氏との討議が行われ、今年度・来年度の入学者に対してはより手厚いケアが求められていること、教育機関間で情報共有を進める必要など、いくつかの重要な指摘がなされました。

参加者(24名)との意見交換もなされ、充実した時間となりました。

### [第2回]

2020年度第2回研究会は、2021年1月23日(土)にオンライン(Zoomを利用)で実施致しました。テーマを、2020年9月に実施したシンポジウムを引き継ぐ形で「コロナ禍の観光教育をどうすすめるか—オンライン・対面授業の現状と課題—」として実施しました。板垣武尊氏(和洋女子大学)、大島安奈氏(大阪観光大学)を話題提供者として迎え、宋戸副会長のコーディネートで議論を進めました。板垣氏・大島氏の所属大学におけるコロナウイルス感染症拡大への対応、授業のオンライン化状況と学生の反応、さまざまな授業形態とオンラインとの適合性などの情報提供がなされました。

33名の参加者からも活発に質問が出され、盛況のうち

に終了致しました。

## 【機関誌編集委員会】

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第15号

＜投稿原稿募集のお知らせ＞

日本観光ホスピタリティ教育学会の機関誌『観光ホスピタリティ教育(英語名:Annals of Tourism & Hospitality Education)』の投稿原稿を募集いたします。

観光ホスピタリティ分野の教育活動を行っている大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校はますます増加しております。会員の皆様がかかわったさまざまな教育実践の取り組みや学術的な研究の成果をぜひ、本学会の機関誌でご発表ください。

会員の皆様からの投稿を編集委員会一同、心からお待ちいたしております。また、編集委員会から原稿執筆などをお願いした際には、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

第15号の原稿締切日:2021年4月30日(金)

原稿投稿先:投稿申込書1部(ワード)と審査用原稿1部(ワードおよびPDF)にて本学会本部事務局(jimu@jsthe.org)にメールで送付。申込書は本学会ホームページからダウンロードください。

## 【新規事業委員会】

新規事業2020年度「グループ研究助成制度」は、2020年12月1日(火)～2021年1月31日(日)の募集期間が終了し、申請を締め切りました。

今回の期間内には申請がありませんでした。そのため以下の通り募集期間の延長を行います。

再募集期間:2021年2月12日(金)～3月14日(日)  
応募に関する詳細は、学会ウェブサイト以下URLからご確認ください。

<https://jsthe.org/news/1169.html>

## 【広報委員会】

本学会では新規会員を募集中です。特に、観光ホスピタリティ教育に関心を寄せる大学院生と実務家の入会を促進しています。手続き等について詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。

また、関連する学校や団体に向けて、本学会の全国大

会や研究会、各種イベントの情報を配信しています。配信先となる学校・団体等がございましたら情報をお寄せください。

## 【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

## 【献本情報】

事務局宛に以下のとおり献本がございましたので、ご紹介致します。

渡辺康洋氏 (2020) 本気で観光ボランティアガイド：旅行者を必ず満足させるテクニック。桜美林大学出版会。

(会員執筆者：渡辺康洋氏)

*旅行者を満足させるガイドとは？ 観光ガイドとして、どうやって明るく、楽しく、テンション高く、旅行者を案内するかに重点をおいて説明。サービス業・接客業としての観光ガイドに求められるおもてなしや礼儀作法にも触れる。*

(「TRC MARC」の商品解説より引用)

野口洋平氏 (2021) 現代旅行のアーキテクチャ：パッケージツアーの構造とその変化。晃洋書房。

(会員執筆者：野口洋平氏)

*ユニークな切り口からパッケージツアーに迫る専門書。旅行ビジネスの実務に重要なヒントも。旅行ビジネスにおける差別化戦略の焦点、パッケージツアーの“アーキテクチャ”とは何か。*

(出版社の内容説明より引用)

山口誠氏・須永和博氏・鈴木涼太郎氏 (2021) 観光のレッスン—ツーリズムリテラシー入門。新曜社。

(会員執筆者：鈴木涼太郎氏)

*\*豊富な事例と具体的なアイデアで読みやすく、これから観光を学ぶ高校生や大学生はもちろん、観光にかかわる人びとにも最適な一冊。*

*\*観光学の教科書や専門書を読む前に「なぜ観光を学ぶのか」を根本的に考える、いままでなかったタイプの入門書。*

*\*15編のレッスンと30冊のブックガイドで、新たな観光への道筋(ルート)を照らし出す、独習もできる「レッスン・ブック」。*

*\*一読すれば「観光の可能性」がもっと観えてくる。*

(出版社の内容説明より抜粋引用)

いずれの文献も、観光・ホスピタリティに関する概論的科目や、旅行産業論・観光事業論といった専門科目を展開していく上で新しい視点をもたらしてくれる興味深い構成・内容となっております。(事務局)

編集・発行人 高橋修一郎 (文京学院大学)

E-Mail : stakahashi@bgu.ac.jp

FAX : 03-5684-4706 (大学共用)

## 【学会 SNS アカウント】

Facebook

<http://www.facebook.com/jsthe.org/>

Twitter

<http://twitter.com/JSTHEducators>